

# Press Release



2021年12月7日

Okta Japan 株式会社

報道関係者各位

## クラウド型契約マネジメントシステム「ContractS CLM」が、 Okta の「Okta Integration Network」登録済み国内アプリとして SCIM に対応

Okta Japan 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：渡邊 崇）は、ContractS（コントラクト）株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：笹原 健太、以下 ContractS）が提供する契約ライフサイクルマネジメントシステム「ContractS CLM (<https://www.contracts.co.jp/>)」（旧 ホームクラウド）が、Okta の 7,200 以上の事前連携アプリテンプレート群「Okta Integration Network (<https://www.okta.com/jp/okta-integration-network/>)」（OIN）に登録済みの国内アプリケーションとして、ユーザーのプロビジョニング（注 1）を可能にするオープン標準規格 SCIM（System for Cross-domain Identity Management）に対応したことを発表します。



企業が業務で利用するクラウド型アプリケーションの数が急速に増えており、それらを利用するためのユーザーアカウントを従業員に割り当てたり、退職や部署異動などで割り当てたアカウントを解除したりする作業の負荷が IT 管理者の時間を奪っています。また、退職者のアカウント解除漏れによる情報漏洩のリスクも増大しています。

今回、ContractS CLM が SCIM に対応したことにより、アイデンティティ管理・認証基盤プラットフォーム「Okta Identity Cloud」を使用する ContractS CLM の利用企業は、Okta が提供する Lifecycle Management

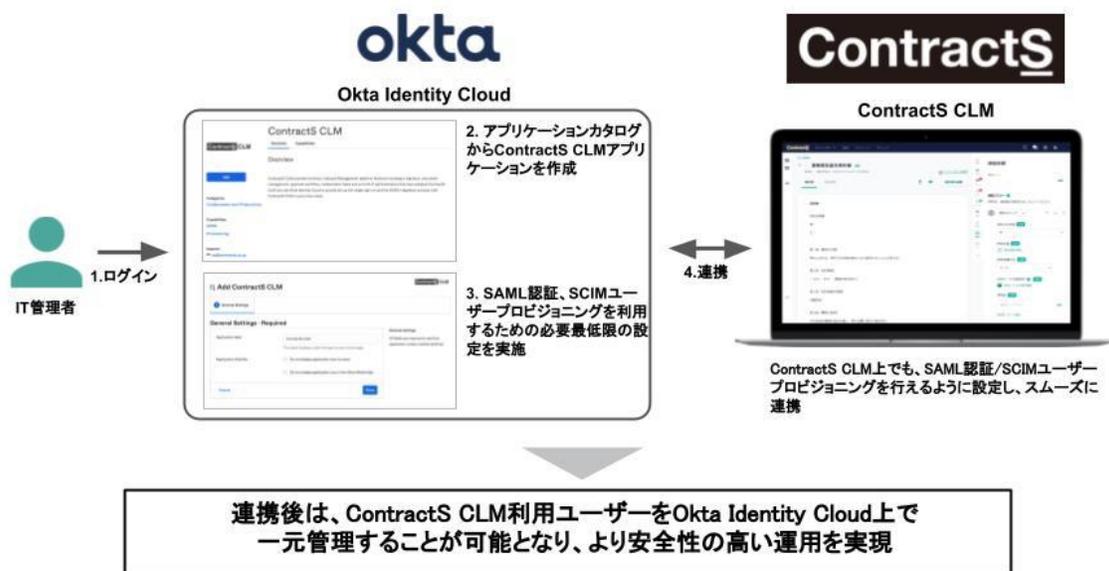
# Press Release



(<https://www.okta.com/jp/products/lifecycle-management/>) 経由で、ユーザーアカウントのアクセス権を一元管理でき、ユーザーのプロビジョニング作業の自動化が可能になります。これにより、IT 管理者の負荷を大幅に削減し、ユーザーに必要なタイミングで迅速にアカウントを付与します。ユーザーは SAML によるシングル・サインオンが可能となりスムーズに業務を開始することができます。また、不要時にはアカウントを自動解除し、解除漏れによるセキュリティリスクを低減できます。

ContractS 株式会社の代表取締役 CEO、笹原 健太 氏は、次のように述べています。「Okta 様とは、本年 6 月の OIN 登録による SSO 連携に続き、今回 SCIM にも対応し、ContractS CLM ご利用のお客様により安全で利便性の高い体験を提供できることを嬉しく思います。セキュリティとユーザーエクスペリエンスの向上は当社も重視しており、お客様が Okta Identity Cloud の活用を通して、ContractS CLM をより安全にご利用いただけることを期待しております。」

Okta Japan 株式会社の代表取締役社長、渡邊 崇は、次のように述べています。「ContractS 様が提供する ContractS CLM は、本年 6 月に OIN 登録されたことで企業の IT 管理者が SSO 設定を迅速かつ安全に行うことができるようになっていますが、それに加えて今回 SCIM に対応したことで、ユーザーアカウントのライフサイクル管理プロセスを自動化し、セキュリティとユーザーエクスペリエンスが向上します。今後さらに OIN で国内アプリの SCIM 対応が増えていくことを心から期待しております。」



Okta Identity Cloud と ContractS CLM の連携イメージ

# Press Release



## SCIM 対応によるデモのご紹介

ContractS CLM が SCIM 対応したことによるユーザーアカウントのプロビジョニングのデモを Okta 主催のオンラインイベント「OIN Forum」の中でご紹介いたします。

開催日時 : 2021 年 12 月 8 日 (水) 15:00 - 16:30

形式 : オンライン

参加 : 無料 (事前登録制)

お申し込み : <https://regionalevents.okta.com/oinforum>

注 1: プロビジョニングには、業務などで利用するアプリケーションに対するアクセス権の作成、更新、削除が含まれます。従業員や社外ユーザーの入社、異動、退職などにもなうユーザーアイデンティティのライフサイクル管理の一部をなす概念です。プロビジョニングおよびライフサイクル管理の自動化を導入すれば、IT 管理者の貴重な時間を節約し、本来なくてもよい不満やセキュリティリスクを軽減できます。

## ContractS CLM (旧サービス名 : ホームズクラウド) について

ContractS CLM は、契約プロセスの最適化と契約ライフサイクル管理を通して、業務効率化と生産性向上を実現する、契約ライフサイクルマネジメント (CLM) システムです。契約書作成、法務相談・審査、押印申請、締結、保管、ステータス管理など、事業部から法務部まで様々な部署が関わる複雑な契約業務を、迷わずもれなく行うことが可能です。また、締結済みの契約書のドキュメント管理や更新管理に加え、締結前の契約書のステータス管理から契約書の変更・更新の履歴まで、契約のライフサイクル全体の管理を実現します。

<https://www.contracts.co.jp/>

## Okta について

Okta は、すべての人のアイデンティティとアクセスを安全に管理するベンダーニュートラルなサービスプロバイダーです。Okta が提供するプラットフォーム「Okta Identity Cloud」により、クラウド、オンプレミスを問わず、適切な人に適切なテクノロジーを適切なタイミングで安全に利用できるようにします。7,200 以上のアプリケーションとの事前連携が完了している「Okta Integration Network」を活用して、あらゆる人や組織にシンプルかつ安全なアクセスを提供し、お客様の潜在能力を最大限発揮できるように支援します。JetBlue、Nordstrom、Siemens、Slack、武田薬品、Teach for America、Twilio を含む 14,000 以上のお客様が Okta を活用して、職場や顧客のアイデンティティを保護しています。

<https://www.okta.com/jp/>